山のシュール

Schule im Berg 2013

山の文化は
地球という身体を巡る。
山の人間は、
自ら感じ、歩きながら、
静かに語り合う。
夏、新しい学びの場が、
那須に甦る。

山のシューレ開催にあたり

自然の叡知 21 世紀の文化と技を考える

自然は叡知を秘めています。自然は宇宙についての無限の情報を孕み、自らの内部から生命を生み、ついには人間をこの地球に送りだしてきました。人は自然の叡知を学びながら、自然を母体に成長してきたのです。しかし自らを育んできたその叡知を人間は忘れようとしています。人間を包む生命、生命を包む自然、自然を包む地球、地球を包む宇宙・・・

そうした人間世界を根底で織りなしている連鎖と関係のなかに古くて新しい叡知を見い出さねばなりません。破滅的な方向へ突き進む科学技術や経済や環境を再考し、人間の技と振る舞いを正しい道へと連れ戻すヴィジョンが切望されています。自然に潜在する膨大な知恵を救いだし、その知を通して、これまでの世界の有り方を変えてゆくことが求められているのです。

近現代の技術文明は、自然を制圧し、支配し、不可逆的な改変をもたらすものと考えられてきました。しかし技術（テクノロジー）という言葉の語源となった古代ギリシャ語の「テクネ」は、もともと自然のなかに隠されている自然自身の本質を露わにし、輝きださせる技という意味を持っていました。技術を効率や生産性の追求、硬直化した社会制度から解放してみると、技術の内部から本来の知が目覚め、自然や生命に対して繊細で複雑な振る舞いをすることを発見できるでしょう。自由で高度な人間の技術は自然を制圧したり、破壊したりするのではなく、自然と人間の間に創造的な関係をつくりだします。技術は生命を管理したり、抑圧したりするのではなく、生命に納められている無限の知恵を引き出し、この世界に豊かな意味をもたらすものだったのです。21 世紀に必要なことは自然が語りかけるものに耳を傾け、人間と自然の間に新しい生き生きとしたインターフェイスをつくりだすことでしょう。

私たちの世界にもう一度、失われた叡知を注ぎこみ、私たちの言葉や心に慎ましさと謙虚さを取り戻し、人間と自然の壊れかけた関係を修復してゆかなければなりません。森と庭、里山の再生は人間と自然の生きたインターフェイスの格好のモデルとなるでしょう。那須の小さな森と庭からその新しい物語が始まろうとしています。

伊藤俊治（美術史・東京藝術大学美術学部教授）

7/27 [SATURDAY]

OPENING SYMPOSIUM

生命という果実のもとに
「我々はどこからきて、どこへ向かうのか」

対　談

記憶の文明 ― つくること・残すこと

伊藤俊治（美術史）× 港千尋（写真・評論）
時　間：11:30 ～ 13:00
会　場：観季館大ホール

◇ランチ交流会
時　間：13:00 ～ 14:30
会　場：観季館エントランスホール

鼎　談

近代文明のベクトルを考える
――ボイス・フラー・ケージから

能勢伊勢雄（写真家・展覧会企画）×菅原教夫（美術記者・読売新聞文化部）
ナビゲータ：新見隆（キュレーター）
時　間：14:30 ～ 16:00
会　場：観季館大ホール

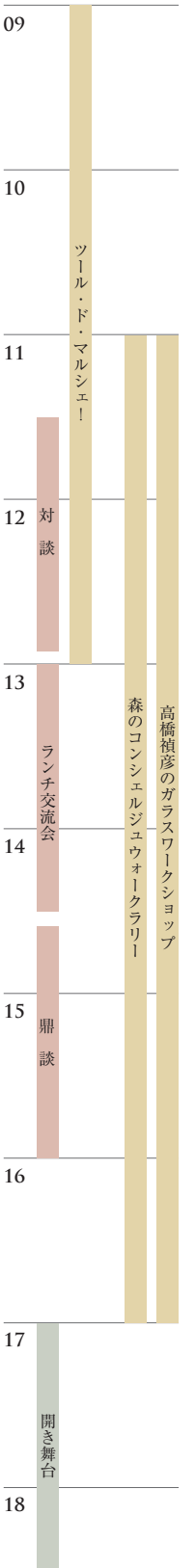
受　付：観季館総合受付
参加費：対談+ランチ+鼎談　　12,000円

STAGE

開き舞台
『花の夢』「いのち」をつなぐもの

安田登（能楽師）　槻宅聡（能楽森田流笛方）
鶴澤寛也（女流義太夫三味線）　青木涼子（能謡能舞）
奥平清鳳（石草流いけばな）

時　間：17:00 ～ 18:30
会　場：観季館大ホール
受　付：観季館総合受付
参加費：3,000円



WORKSHOP

BICYCLE

自転車＋那須＋マルシェ＝オーガニック・ライフ

ツール・ド・マルシェ！

毎年七月に行われる世界最大の自転車レース「ツール・ド・フランス」が、今年で100周年を迎えるのをご存知ですか？ツール100周年を記念して、<スポーツ>としての自転車と<エロジカルなモビリティ>としての自転車、この両面を楽しもうと、「横沢マルシェ」と「大日向マルシェ」という二つのオーガニック・マルシェをつなぐサイクリングイベントを開催します。朝の清々しい空気を吸いながらのサイクリング、そしてマルシェでは美味しい有機栽培のコーヒーやお菓子を楽しみながらゆったり過ごします。ガイドライダーは、那須に誕生したロードレースチーム「那須ブラーゼン」の選手達。レーサーの美しいペダリングを見ながら、安全かつ快適なサイクリングを楽しみます。レーサーと走るサイクリング、そして二つのマルシェを一度に体験できるこの企画、ぜひお見逃しなく！

時　間：09:00 ～ 13:00
受　付：横沢マルシェ総合受付
参加費：1,000円

FOREST

森のコンシェルジュウォークラリー

※詳細はP6をご参照ください。

GLASS

ガラス作家の高橋禎彦氏と一緒に個性豊かな器を制作

高橋禎彦のガラスワークショップ

「宙吹き」という技法で、ふっくらとして、やわらかいフォルムの器やオブジェを制作しているガラス作家の高橋禎彦氏。最近はコップ屋タカハシヨシヒコとしても活躍されています。昨年に引き続き、山のシューレ恒例になった、高橋禎彦氏による ワークショップでは、アドバイスをもらいながら自分だけの個性豊かな器を制作していきます。つくりたい器をぜひ考えてきてください。道具の使い方やガラスを巻くという基本的なところからステップを踏んでいき、器を制作する初心者コースと個人のレベルに合わせて制作できる経験者コースをご用意しています。16:00からは、ワークショップ参加者や見学者も交えて、大きい作品を皆で一つ制作します。

時　間：11:00 ～ 17:00（休憩13:00-14:00）
会　場：アート・ビオトープ那須　ガラススタジオ
受　付：アート・ビオトープ那須　ギャラリーカフェ
参加費：8,000円

7/28 [SUNDAY]

LECTURE

ゲーテ色彩論·形態学と相似象の科学

能勢伊勢雄（写真家・展覧会企画）

近代文明を構築し享受している私達の日常の歯車が軋み始めたときに、「近代以前の視点から近代文明を使っていく」必要性が今日ほど必要になる時代はありません。近代と前近代の認識が交差する時代に生きたゲーテが教えてくれるものを介して、「等身大の科学」に辿り着くための認識を得るヒントともなりうる、湯川秀樹や朝永振一郎を排出した我が国で唯一の自然科学の総合研究所である理化学研究所の物理学者：寺田寅彦の研究手法の一端を紹介しながら、ゲーテとも共通する「相似象の科学」の一端、そして「忘れられた科学精神」としての、“認識のツール”を語ります。

時　間：11:30 ～ 13:00
会　場：観季館小ホール
受　付：観季館総合受付
参加費：4,000円

SYMPOSIUM

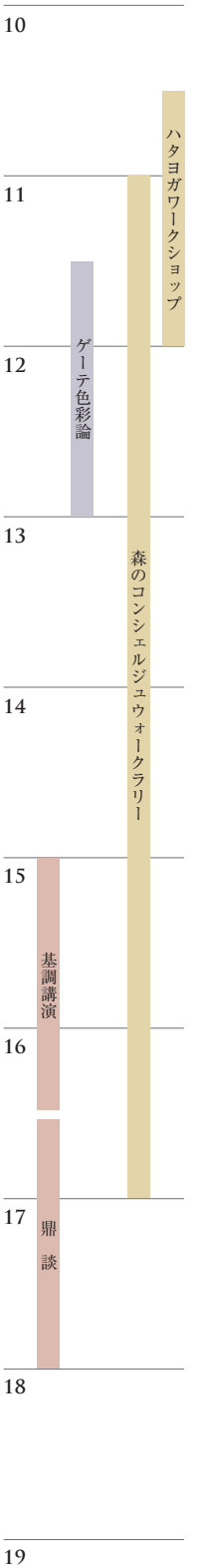
生命から社会へ—境界のない世界を考える

この複雑な世界において、境界のない、なめらかな社会はいかにして可能になるのか、とその著書『なめらかな社会とその敵』で語った鈴木健。基調講演に続くセッションでは、自然と「ともに-考える（com-putare）」という、言葉本来の意味での計算（computation）に支えられた数学を理論的、実践的に追求している森田真生も加わり、それを能楽師・安田登が和のアプローチからナビゲートする、知的興奮に満ちたシンポジウム。

基調講演
鈴木健（自然哲学）
時　間：15:00 ～ 16:30

鼎　談
鈴木健（自然哲学）× 森田真生（数学）
ナビゲータ：安田 登（能楽師）
時　間：16:30 ～ 18:00

会　場：観季館大ホール
受　付：観季館総合受付
参加費：基調講演+鼎談　6,000円
　　基調講演のみ　4,000円
　　鼎談のみ　4,000円



WORKSHOP

YOGA

本場インドの本格的なハタヨガ体験

ハタヨガワークショップ

「ヨガの歴史」と「ヨガの効能」についての簡単なご紹介の後、実践編として、呼吸法と瞑想のテクニックや、さまざまなヨガのポーズを伝授いたします。ぜひ皆様で、本場インドのヨガの素晴らしさをご体験ください。

S.ウェルヴィジェイ
インド・タルミナード州出身。5歳からヨガを始める。ヨガを日常に取り入れることによって、さまざまな心身の不調を整えることができると考え、2003年にインドにてハタヨガ・ティーチャーズトレーニングを修了。2005年よりシャンティ・ヨガ・スタジオ主宰。現在、那須塩原市在住。

時　間：10:30 ～ 12:00
会　場：観季館大ホール
受　付：観季館総合受付
参加費：4,000円

FOREST

二期倶楽部の自然に囲まれた敷地内をウォーキング

森のコンシェルジュウォークラリー

横沢の森は、原生林ではありません。枯れ木を切り、下草を刈り、落ち葉をさらい、時間をかけて人の手により保たれてきました。そして、いまは、実の成る木々、美しい花々、薬草の宝庫です。ここは、まさに人と、自然との共同作品といえるのです。
こんな横沢の森には見所がたくさん。ツリーハウスや横沢エリアの見どころスポットの写真を撮りながら、クイズラリーをお楽しみください。

日　時：7月27日｜土｜、28日｜日｜ 11:00 ～ 17:00（随時受付）
会　場：横沢の森
受　付：横沢マルシェ総合受付
参加費：500円

7/28 [SUNDAY]

FOOD

二期倶楽部のシェフが料理の裏側をご紹介

食から「いのち」を考える
スローフードワークショップⅠ

毎日欠かすことのできない食は、いのちの源です。その土地の気候や風土から受け継がれてきた食文化。これらの大切な生活文化が、近年急速に失われつつあります。ひとりひとりが「食」に対する知識を高め、「食材」を自ら選択し、豊かな食生活を守ることは、豊かな人間性や社会を育むことへと繋がります。今年の夏は、私たちの「食」を取り巻く環境をもう少し深く見つめなおしてみませんか。今回のワークショップでは、二期倶楽部のシェフが日々お届けしている料理の裏側をご紹介します。シェフによるスライドトークと共に、栃木県産のいのししや、二期倶楽部のキッチンガーデンのとれたての新鮮なハーブや野菜をたっぷりと用いて、食材に触れ、シェフと一緒に調理。最後はみんなでテーブルを囲みながら、楽しく共・食=コモンミール。

時　間：10:30 ～ 13:30
会　場：アート・ビオトープ那須　ギャラリーカフェ
受　付：アート・ビオトープ那須　ギャラリーカフェ
参加費：6,000円　未就学児 ￥2,000

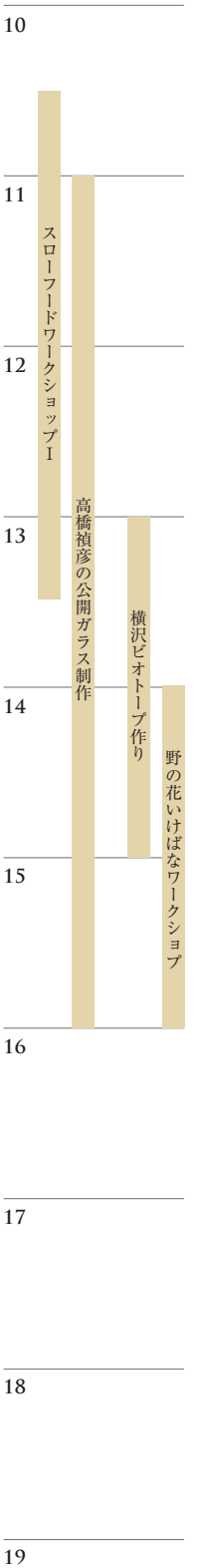
GLASS

１日限定　高橋 禎彦 glass studio

高橋禎彦の公開ガラス制作

アート・ビオトープ那須ガラススタジオが1日限定で、高橋 禎彦 glass studio になります。なかなか見る事の出来ない、高橋先生の普段の制作風景を、この工房で見る事が出来ます。
さらに、この日に作った作品は翌日販売予定。もちろんご予約もOKです。その場でオーダー作品も制作してくださるかもしれません。逃せない、滅多にない機会です。
15:00からは、前日同様に見学者の皆さんで大きい作品を一つ制作します。

時　間：11:00 ～ 16:00（休憩13:00-14:00）
会　場：アート・ビオトープ那須　ガラススタジオ
参加費：無料



WORKSHOP

FOREST

生態系、生物群集の生息空間を築く“ビオトープづくり”

横沢ビオトープ作り

那須町・横沢地区に位置するキッチンガーデンには、山からの水が注ぎ込む小さな池があります。この池を、本来棲む生きものに適した環境である「ビオトープ」とすることを目指し、私たちはいろいろな活動をしています。森や原っぱ、池や川などが季節や時間の中で移り行き、変化する状況を、生きものの視点でみつめ、感じ、考える環境を管理し、保全することで、環境学習を行うと同時に、実際の自然環境が保全されます。今回は、那須野が原生きものネットワーク代表、飯沼靖博さんのご指導の下、横沢の森の中から色々な植物を採取し、池の周りに植えることで、生きものの多様性を増やすワークショップを行います。がんばって活動していただいた皆様には、キッチンガーデンのハーブを使ったオリジナルドリンクをご用意しています。お子様だけでなく、大人の方のご参加もお待ちしております。

※ビオトープとは、生きもの（Bio）がありのままに生息活動する場所（Top）という意味の合成されたドイツ語です。「ビオトープづくり」とは、自然の植生を増やし、虫や小動物といった生物を呼び込んで、その場所本来の生態系、生物群集の生息空間を築く試みです。

時　間：13:00 ～ 15:00
受　付：横沢マルシェ総合受付
参加費：1,000円

FLOWER

石草流いけばな家元　奥平清鳳

野の花いけばなワークショップ

日本古来の風習をふまえ、野山にあるかのように自然を写す作風で知られる石草流（せきそうりゅう）のいけばな。このワークショップは、実際に生えている草花の美しさを観察し、そっと摘み取ることからはじまります。法則や花型にとらわれない、花や枝の持つ美しさを生かしたいけばなは、初めての方でも気軽に楽しんで頂けます。気品のある石草流いけばなの世界を、清楚な那須の草花と共にお楽しみください。

持ち物：不要（使い慣れている花ばさみをお持ちの方はご持参ください）
花材の採取を行いますので、歩きやすい服装、靴でご参加ください。

時　間：14:00 ～ 16:00
会　場：にき倶楽部1986　にきホール
受　付：にき倶楽部1986　にきホール
参加費：4,000円

7/29 [MONDAY]

LECTURE

建築のあたらしいかたち

これまでの山のシューレのテーマの一つでもあった、人間と自然とを繋ぐ場所としての「庭」。人間と自然との新しい関係性について考察を深めてきた伊藤俊治と、未来の尺度を考え続ける建築家・石上純也が、横沢の森と「庭」について、いま語りあう。

対　談
伊藤俊治（美術史）× 石上純也（建築家）

時　間：11:30 ～ 13:00
会　場：観季館大ホール
受　付：観季館総合受付
参加費：4,000円

SYMPOSIUM

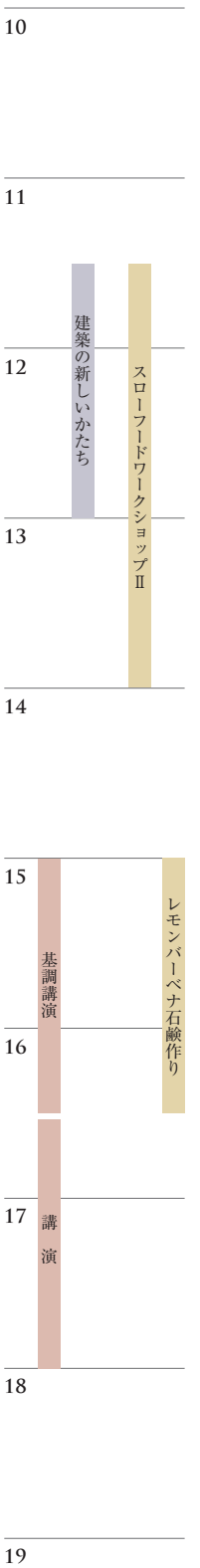
美の創造—文化・生活から、生命知を問う

バウハウスの伝統の根づくドイツに学んだ、日本における、デザイン学のパイオニア向井周太郎。その講演に続くのは、弟子にして、「五感で感じる」デザインのトップランナー、原研哉。果たして、現代デザインは、社会の活性と、個人の感性の発揚を、ともに成し遂げるだろうか？興味津々の大弾幕、師弟セッション、2013シューレ大団円。

基調講演
向井周太郎（インダストリアルデザイン）
時　間：15:00 ～ 16:30

講　演
原研哉（グラフィックデザイン）
時　間：16:30 ～ 18:00

会　場：観季館大ホール
受　付：観季館総合受付
参加費：基調講演+講演　6,000円
　　基調講演のみ　4,000円
　　講演のみ　4,000円



WORKSHOP

FOOD

自分で収穫した新鮮な野菜を使って薪窯で焼くピザ作り体験

食から「いのち」を考える スローフードワークショップ Ⅱ

このワークショップでは、自分で収穫した新鮮な野菜を使って薪窯で焼く、とびきりおいしいピザを作ります。今回担当するスタッフは、那須野が原生きものネットワークの飯沼靖博さんと、アート・ビオトープ那須の「森のコンシェルジュ」の阿久津と横塚です。いきものや自然に詳しいスタッフと、お話しながらピザ作りを楽しみましょう！

時　間：11:30 ～ 14:00
会　場：キッチンガーデン
受　付：アート・ビオトープ那須　ギャラリーカフェ
参加費：4,000円

AROMA

ナチュラルソープを作るワークショップ

nikissimo レモンバーベナ石鹸作り

厳しい環境に生息する白樺の樹液や、ハーブから抽出したエッセンシャルオイルは、古来から人間の知恵によって様々に役立てられてきました。人々の生活に欠かせない植物のお話や、摘みたてのハーブの味や香りに触れるnikissimoハーバル講座。今回はキッチンガーデンで収穫したばかりの「レモンバーベナ」で、爽やかなナチュラルソープを作るワークショップを開催します。

時　間：15:00 ～ 16:30
会　場：アート・ビオトープ那須　ギャラリーカフェ
受　付：アート・ビオトープ那須　ギャラリーカフェ
参加費：2,500円

3 DAYS

MARCHÉ

横沢マルシェ

今年の横沢マルシェは昨年同様、敷地内の2つのエリアで開催。アート・ビオトープ那須の新設ギャラリーカフェを中心としたオーガニックマルシェエリア、毎年恒例となっているフードエリアで皆様をお迎えします。

オーガニックマルシェエリア
体に優しい朝食と、那須の有機農家直送の採れたて野菜などをお買い求めいただけるマルシェです。エコバック片手に、お気軽にお越しください。

日　時：7月27日｜土｜～29日｜月｜ 09:00 ～ 13:00
会　場：アート・ビオトープ那須　ギャラリーカフェ

フードエリア
那須エリアの様々な飲食店約15店舗が一同に集う、横沢マルシェのフードエリア。
11:00 から18:00 は、オーガニックなお店を中心としたランチ&ティータイム。
18:00 からは、お酒も楽しめるBAR&FOODタイム。
19:00 からは、様々なアーティストたちによるフリーライブも楽しめます。

日　時：7月27日｜土｜～29日｜月｜ 11:00 ～ 22:00
会　場：横沢マルシェ

ACTIVITY

スラックライン

いつでも！どこでも！楽しめるスラックライン。お子さまから大人までお楽しみいただけるスラックラインを今年も横沢の森の中に設置します。仲間と一緒に、飛んだり跳ねたり綱渡り。みんなで盛り上がってみませんか。

日　時：7月27日｜土｜～29日｜月｜ 11:00 ～ 18:00
会　場：横沢マルシェ・横沢庭内

PAINT

ライブペイント

能勢聖紅（デコレーター）
1978年岡山市に生まれる。クラブミュージックを中心とする様々なイベントシーンで、デコレーションアーティストとして装飾を手掛ける。1996年に活動を開始して以来今日までに450会場を超えるデコレーション作品を発表。立体装飾、生花を使ったインスタレーション、ライブペイントなどを中心に、現在も国内外を問わず全国的な活動を繰り広げる数少ないデコレーションアーティストである。

日　時：7月27日｜土｜～29日｜月｜ 11:00 ～ 18:00
会　場：横沢マルシェ・横沢庭内

LIVE

音楽ライブ

会　場：横沢マルシェ

7月27日｜土｜ 19:00 ～ 20:00
町田良夫（スティールパン奏者、音楽家・美術家）

音楽家／美術家。多摩美術大学在学中、秋山邦晴に師事、アート／音楽／映像を総合的に学ぶ。90年代、アジア、アフリカで国際協力の仕事に従事。電子音響～スティールパンによる音楽の可能性を追求。瞑想的なソロ作「Naada」は細野晴臣から「スチールパンの新しい旅」と賞賛される。ISEA2004、Sonar Tokyo、MaerzMusik等国内外の音楽祭に参加。仏Van Cleef & Arpels展覧会音楽なども手がける。2011年ブルガリアでの個展では「丸」をモチーフとしたビデオ・インスタレーションを展示。音楽レーベル、アモルフォンを自ら主宰、国内外の個性的なアーティストを発掘、リリース。音楽誌への寄稿、レクチャー、自身の活動を応用したユニークな子供向けのワークショップ等、活動は多岐に渡る。

7月28日｜日｜19:00 ～ 20:00
tico moon：吉野友加（アイリッシュハープ）、影山敏彦（アコースティクギター）

2001年7月、ハープ奏者/吉野友加と、ギター奏者/影山敏彦によって結成されたデュオユニット。アイリッシュハープとアコースティックギターという、他ではあまり聴く事の出来ない温かく透明感のあるその演奏や楽曲には定評があり、全国各地のカフェやギャラリー等でコンスタントにライブを行っている。2003年10月に333DISCSからファーストアルバム『lento』をリリース。その後、オリジナルアルバム、クリスマスアルバム、ライブアルバム等の作品を発表し続けている。また2009年には、映像制作チーム「SOVAT THEATER」によるストップモーションアニメーション『電信柱エレミの恋』(第13回文化庁メディア芸術祭優秀賞、第64回毎日映画コンクール大藤信郎賞受賞)の音楽を全編担当。2011年には結成10周年を記念したアルバム『Daydream Garden』をリリース。このアルバムではヴォーカル曲にも挑戦し、少しづつ表現の幅を広げている。

7月29日｜月｜19:00 ～ 20:00
奈良大介（ジャンベ・プレイヤー）

1967年3月19日生。うお座。B型。20代前半にレゲェ、ボブマーリーの音楽と出会い、この頃から、レゲェの根幹にあるラスタファリズムを考えの中心におく。その後、ナイヤビンギと出会い太鼓に興味をもつと同時にDJEMBEに会う。N.Yに滞在し、アフロアメリカンの暮らしやアートに興味を持ち、アフリカ文化にハマる。この頃から絵を表現の一端とする。1996年～セネガル出身のマムドゥ・カンデ氏に師事。1997年、PERC・A・HOLIC結成、2001年解散。1999年、アフリカ、ギニア共和国へ渡り、ラミン・ロペス氏に師事する。帰国後、東京ナンガデフ、MANDEN-FOLIなどのグループで活動する。JAH K.S.K & JOMORE STARS、やっほーバンド、PJアコースティックスタイル、サヨコオトナラ、朝崎郁恵（奄美島唄）、マブリ、DOUNIYAH等で活動中。ギターも再び弾き始め、思いを伝えるため、唄も歌い始める。音楽の持つ不思議な力と、言葉の魔力を信じて、現在、ソロ活動も進行中。また、全国で、DJEMBEのワークショップも開催。

AREA MAP

FOOD & DRINK

横沢マルシェ——出店店舗一覧

7月27日｜土｜　マルヨシ（ダイニングバー）/ 森林の牧場（アイスクリーム等）/ 旭興 / 野菜ソムリエ栃木（野菜スムージー）/ たかやまさんち（南米料理）/ 猪苗代地ビール / ひげそば / サッポロビール株式会社 / プラビ（アイスコーヒー）/Bar Calme（ダイニングバー）/ アトリエ憂（ハーブティ）/ アンリロ（ベジタリアンカフェ）/ ペリカンルージュ / ほか

7月28日｜日｜　マルヨシ（ダイニングバー）/ 森林の牧場（アイスクリーム等）/ 旭興 / 野菜ソムリエ栃木（野菜スムージー）/ 出張喫茶スーベニア（カフェ）/ たかやまさんち（南米料理）/ 猪苗代地ビール / ひげそば / サッポロビール株式会社 / プラビ（アイスコーヒー）/ Bar Calme（ダイニングバー）/ アトリエ憂（ハーブティ）/ REDS / RAKUDA / VINCH / アンリロ（ベジタリアンカフェ）/ ペリカンルージュ / ほか

7月29日｜月｜　マルヨシ（ダイニングバー）/ あいかけん / 旭興 / 野菜ソムリエ栃木（野菜スムージー）/ こと葉（マクロビオティック）/ たかやまさんち（南米料理）/ 猪苗代地ビール / ひげそば / サッポロビール株式会社 / プラビ（アイスコーヒー）/ アトリエ憂（ハーブティ）/ 蔵楽 / 廻カフェ（オーガニック和食カフェ）/ アンリロ（ベジタリアンカフェ）/ ペリカンルージュ / ほか

BAR

観季館バーオープン

原宿の伝説のバー、「バー・ラジオ」から引き継いだカウンター、そして日本を代表する彫刻家 若林奮の作品が配され、洗練された空間を演出する観季館バーが、山のシューレの期間中限定でオープン。70年代のノスタルジー、そして大人の粋が感じられる空間です。夏の夜風を感じながらの外席の一杯もまた、格別です。是非お立ち寄りください。

会　期：7月27日｜土｜～ 29｜月｜ 18:00 ～ 23:30
会　場：観季館バー

※プログラムは一部変更になる場合があります。表示料金は税込価格です。

［主　催］
特定非営利活動法人アート・ビオトープ

［共　催］
二期倶楽部
アート・ビオトープ那須

［特別協賛］
株式会社ランゲージ・ティーチング・
レボリューションズ

［後　援］
栃木県
那須町
大田原市
那須塩原市
栃木県教育委員会
那須町教育委員会
大田原市教育委員会
那須塩原市教育委員会
公益社団法人栃木県観光物産協会
一般社団法人那須町観光協会
那須町商工会
大田原市観光協会
社団法人大田原商工会議所
黒磯観光協会
西那須野観光協会
朝日新聞宇都宮総局
株式会社エフエム栃木
産経新聞社宇都宮支局
株式会社下野新聞社
東京新聞宇都宮支局
株式会社とちぎテレビ
株式会社栃木放送
毎日新聞宇都宮支局
読売新聞宇都宮支局

［協　賛］
有限会社荒井モータース
植木酒店
株式会社英図
株式会社榎本
有限会社オーマン
有限会社雅城
キャラレター
康栄観光バス株式会社
株式会社巧建舎
三和印刷株式会社
SIGMA STYLE
株式会社昭和食品
有限会社ジョセフィンファーム
ダイヤモンド経営者倶楽部
株式会社宝木スタッフサービス
株式会社タシロ清掃
有限会社月井商店
株式会社デイブレイク
東京ガスエネルギー株式会社
株式会社トーシンコーポレーション
那須合同自動車株式会社
株式会社びっくり市木の木
株式会社日比谷プロワーク
有限会社フローリスト花子
株式会社ヴィジット
株式会社ヴィラ・アビゼ
株式会社みつわランドリー
有限会社ミヤ商事
Mirroir
株式会社横倉本店

ART BIOTOP

栃木県那須郡那須町高久乙道上2294-3
Tel. 0287-78-7833
山のシューレ公式サイト www.schuleimberg.com
NPO法人アート・ビオトープ www.npo-artbiotop.org

© 2012 Art Biotop all rights reserved. Printed in Japan.